

岩手県立大学 看護学研究科 博士前期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

| No | 内 容（学生が修了までに身につけるべき能力） |
|-----|--|
| DP1 | 看護学の理論に基づき、看護実践を分析し、記述することができる。 |
| DP2 | 独創性や発展可能性のある学術的に有用な看護学研究を行うことができる。 |
| DP3 | 看護専門職としての看護実践能力・教育力・研究力・管理能力を養うことができる。 |

【アセスメントの実施計画】

| | アセスメント名称 | 内容等 | 時期 | 対応 DP | 結果の活用（公開方法） | 実施者 |
|------|---|---|---------------------|----------------|--|-------------------|
| 1 年次 | 入学生アンケート調査 (修了時アンケート調査に連結できるようにデータを収集する) | 社会人入学者の学修環境 修了後の意向(活動の場など) | 4 月 | DP3 | 在学中の院生面談に活かす。修了生アンケート調査に連結できるデータを収集し、分析する。 | 看護学研究科 |
| | 個人面談 | 学修行動、学修環境、休学や 長期履修延長の必要性などを確認する。 | 4 月 10 月、 他適宜 | DP2 | 個々の学生の学修状況を把握する。 (内容については公開しない。) | 看護学研究科 (主指導教員) |
| | 学修成果確認 | 修得単位数 | 2 月 | DP1 DP2 DP3 | 個々の学生の学修状況を把握する。 | 看護学研究科 |
| | 研究倫理審査 | 研究計画書等の評価 | 3 月 | DP1 DP2 DP3 | 研究計画書を審議し、研究遂行可能性を把握する。(内容については公開しない。) | |
| 2 年次 | 個人面談 | 学修行動、学修環境、休学や 長期履修延長の必要性などを確認する。 | 4 月 10 月、 他適宜 | DP2 DP3 | 個々の学生の学修状況を把握する。 (内容については公開しない。) | 看護学研究科 (主指導教員) |
| | 学修成果確認 | 修得単位数 | 2 月 | DP1 DP2 DP3 | 個々の学生の学修状況を把握する。 | 看護学研究科 |
| | 学位論文審査 | 学位論文の評価 | 1 月 | DP1 DP2 DP3 | 学位論文（最終版）の提出可否を決定する。 | 看護学研究科 |
| | 学位論文発表会（学内公開） | 学位論文の発表及び質疑応答の評価 | 2 月 | DP1 DP2 DP3 | 学外公開発表の可否を決定する。 | 看護学研究科 |
| | 修了年次アンケート調査 | 在学中の学修について (DP 到達度の自己評価など) | 修了時 | DP1 DP2 DP3 | 教育内容、学修環境、研究指導体制、学位論文の審査基準を点検する | 看護学研究科 |
| 各年次 | 院生の動向調査 | 長期履修者の割合 社会人入学者の割合 休学率、中途退学率 学位の授与数 修業年限内の修了率 | 毎年度 4 月 | DP1 DP2 DP3 | 社会人入学者の学修サポート体制を検討する など | 教育支援室 |
| 修了後 | 既修了生の動向調査 | 就業場所、職種、職位、大学院修了資格を活かした活 | 2 年ごと 初回調 | DP1 DP2 DP3 | 教育内容、研究指導体制を点検する | 看護学研究科 |

| | | | | | | |
|--|--|---|-----------|--|--|--|
| | | 動、CNS コース修了生は CNS 資格所得の有無と活動状況および更新状況、到達した DP に基づく実践内容、カリキュラムに関する意見 | 査は令和 5 年度 | | | |
|--|--|---|-----------|--|--|--|